

市川市子ども会育成会だより

ふれあい

2020
102号
令和2年 2月



- ・ 祝60周年 お祝いのあいさつ 2
- ・ ユースリーダー はぜ釣り大会 祭り寿司... 8
- ・ 60周年記念式典の様子..... 4
- ・ 歳末助け合い募金 中国雑技川劇鑑賞..... 9
- ・ 記念イベント「わくわく広場」の様子..... 6
- ・ トピックス さくら・高石神・つくし子ども会..... 10



子ども会 連絡協議会



創立60周年を迎えて

市川市子ども会育成会

連絡協議会

会長 石井 克己



市川市子ども会育成会連絡協議会が、本年創立60周年を迎えることができました。

長年に亘り諸先輩方、多くの歴代役員、育成者の皆様のご努力とご支援に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

戦後のまだ貧困の時代、有志の方が遊びを教え、おやつを与えたのが子ども会の始まりでした。異年齢の子どもが集まり遊びを通じて活動することを目的に始まったと聞いております。

設立当時を紐解いてみますと昭和33年市川市青少年問題研究対策協議会が設置され、翌34年、協議会のご指導の下、16の単位子ども会によって設立され、千葉県下第1号の連

絡協議会となりました。

昭和50年代から平成の初めにかけて最大163団体、子ども2万1千名、育成者を含めると3万名の会員でしたが、少子化、核家族化が進み地域社会と家庭との繋がりが薄れて来たことや、個人意識の高まり等、集団活動になじめない大人、子ども等、子ども会はなれにより現在81団体、5千名と小さくなりましたが、子どもの健やかな成長を願う想いはいささかも変わりません。

この60年の市子育連の歩みは決して平坦なものではなく、会員の皆様の奉仕の精神と弛まぬ努力によって今日の市子育連が形成されたものと思えます。

諸先輩方が築き上げて下さいました60年の歴史と実績を土台に更なる発展を目指し、魅力ある育成活動に尽力してまいります。

皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに記念事業にご協力頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

60周年記念イベント 子ども事業

副会長 亀山 達次



平成30年1月より記念事業準備会議を開催し7月の会議で1年後の開催予定日程が決まりました。

子ども事業については、当初よりメインとして風船遊具及びおもしろチャレンジを行う事が決められていましたので、事業内容を決めることに關してはスムーズに進行しました。

平成31年2月の第1回の実行委員会において、開催日程（令和元年10月6日）が決定し子ども事業開催に向けての本格的な話し合いがスタートしました。

風船遊具の選定、おもしろチャレンジの種目の選定をしていく中で、風船遊具の電源の問題及び搬入の問題が発生

しました。

また、募集要項の件、当日スタッフ募集の件、当日の進行、参加賞記念品の選定も併せて話し合いを行い、一つ一つ解決していくのは大変でしたが何とか形になって行きました。

電源の問題に關しては、発電機のレンタル等も考えましたが難しく、事務局の協力もあり体育館の電源が借りられました。遊具の搬入は人力では難しい為、急遽ユニックトラックが借りられることになり、無事搬入・搬出作業が出来ました。

2月の会議より9回の会議を重ね、最終的に約350名の子どもへの参加が有り、ほとんどの子どもに喜んでもらった本事業、不手際も有ったかと思いますが、スタッフ皆の協力もあり、大きな問題もなく成功裏のうちに終えることが出来ました。



市川市 育成会

祝 60 周年



創立60周年に寄せて

市川市教育委員会

教育長 田中 庸恵



市川市子ども会育成会連絡協議会が創立60周年を迎えられたことに心からお祝い申し上げます。

昭和34年に市川市子ども会育成会連絡協議会が結成され、60年という長きに渡り、地域で子ども達を温かく見守り、青少年の健全育成に取り組みでこられた歴代会員の皆様方のご尽力に深く敬意を表す次第です。

市川市教育委員会では、「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念として、それぞれのライフステージにおける学びや家庭・学校・地域の連携・協働を大切にしたい。「つなぐ教育」を進めており、将来、皆様とともに子ども会育成会活動の担い手となる人

材を育成するための施策事業に取り組んでおります。

昨今、人々の価値観や生活様式が多様化し、子ども会活動に子どもが集まりにくくなっている中、運営にはご苦労も多いことと存じますが、これからも地域の中で子どもたちを温かく見守り、支えてくださいますようお願い申し上げます。

結びに、今後とも子どもたちの健全育成によりお力添えをお願いし、市川市子ども会育成会連絡協議会のご発展を心よりご祈念申し上げ、創立60周年に寄せる言葉とさせていただきます。



60周年記念式典・ 祝賀会を顧みて

理事長 服部 英信



11月10日(日)、市川グラウンドホテル黄金の間は、ご来賓はじめ再会を喜ぶ大勢の出席者で埋め尽くされた。式典では石井会長から市子育連60年の歩みを総括する挨拶があり、ご来賓挨拶に続きボランティアアリーダ15名への感謝状授与がありました。穏やかな語り口の「60年の歩み」にうなづく出席者の微妙な表情にも明るさを感じられた。

祝賀会では「各地区子ども会活動」や子ども記念事業「わくわく広場」が大型スクリーンに写し出されると、流れる映像とテロップに合わせて歓喜の渦が沸き起こった。

藪崎顧問の乾杯のご発声を受けて、緊張が嘘のように消えると賑やかな歓談の華が各

テーブルに咲き始めた。暫くして津軽海峡を連想させる三味線の演奏があり、弾ける荒波のような余韻を残して、数名の方々にインタビュ形式の在りし日の想い出の1ページを語って頂いた。

世阿弥の言葉を借りれば「時々の初心」忘れず、未来へ繋がる素敵な60周年記念式典・祝賀会であった。



記念式典

2019年11月10日(日)
市川グランドホテルにて
60周年の記念式典が行われました。

あいさつの様子



60周年

会場の様子



インタビューでは…

- ・ 皆さんにお会い出来るの楽しみにしていました。
- ・ 関会長、数崎会長さんの時代から…
- ・ はせ釣り大会でテントを張るには国土交通省の許可が必要という秘話！

等々

一言コメントでは…

我が家の二人の子ども達が生き生きとして行事に参加していたのを昨日のように思い出されます。既に各々二人の子どもの父親となっています。



広場



わくわく広場が出来るまで



完成!

60周年イベント

わくわく

2019年10月6日(日)
市川市国府台スポーツセンターで
60周年イベント「わくわく広場」が
開催されました！



皆で楽しく遊びました!



子どもたちの感想

ポヨンポヨンしていて
おもしろかった！

またやりたい！

おりののはスーッとおり
られたけれど、のぼるの
はむずかしかった

たのしかったので
なん回もやったが、
もっとやりたかった

はじめてするゲームも
あり、たのしかった

たのしかった
もっとやりたい
またやって！ の声

今日の「わくわく広場」は
子ども達にとって
記憶に残る一日となった
♪♪♪でっちゃんー

ユースリーダー講習

ユースリーダー 中央子ども館で 実演!

9月28日(土)第五回講習会を中央子ども館で、一般の子供を対象にゲームを実演しました。
中・高生のリーダー25名が、手遊びをしたり、ボール送り、ジャンケンゲーム等、楽しみながら、参加者共々よい体験ができました。
第四回講習会では、子ども役・リーダー役に分かれ、この日の為に役を変えながら数回練習しました!



はぜ釣り大会



8月3日(土)江戸川放水路で、はぜ釣り大会が行なわれました。今年は18単位子ども会から子ども78人、大人40人の計118名の参加がありました。
今回はテントを3張りに増やし、参加者にも利用して頂きました。

成績

子どもの部

順位	釣果	子ども会名	氏名	学年
優勝	10匹(9cm)	須和田1丁目	谷口 葵	6年
優勝	10匹(9cm)	須和田1丁目	谷口 直也	3年
3位	10匹(8.5cm)	中国分	田久保 勇吹	4年
大物	13.5cm	高谷	豊木 勇陽	4年
外道	せいご	中国分	木下 僚	2年

大人の部

順位	釣果	子ども会名	氏名
優勝	8匹	柏井第2支部	白木 一宏
2位	7匹	大和田子ども会育成会	門倉 佐知子
3位	3匹	高石神	阿部 由紀子
大物	10cm	柏井三丁目団地虹	西保 慎也
外道	ふぐ	福栄かもめ	上田 佳奈子

第二回ふれあいセミナー

祭り寿司

を作りました



指導部長 高久 美代子
「太巻き祭り寿司」を11月28日(木)市川公民館にて参加者22名で行いました。
講師の山口由紀氏は千葉伝統郷土料理研究会会員。
「親子で楽しく食育」をテーマに子供達や親子を対象に千葉県郷土料理「太巻き祭り寿司」の普及に取り組んでいます。
子ども達に昔から今も大人気の「アンパンマン」と「さくら

の花びら」を講習しました。

まゆ、目、鼻、口、ピンク色のほほとパーツごとに作り、最後に大きなので一つにまとめ、出来上がりました。

参加され方の中には、子ども会行事に計画を考えた方や、少しコストがかかるのではという方もいました。

初めは難しいと思いましたが、出来上がりを左右の方々と見比べ、食べるのが惜しく飾りたいほどの出来栄に皆さん満足されていました。



歳末助け合い募金

ご協力ありがとうございました

子ども会歳末助け合い募金

12月24日、令和元年度の募金贈呈式が市川市役所飯本庁舎で行なわれました。

23子ども会と募金箱の合計

14万5732円の浄銭が集まり3地区市川南子ども会の杉山小夏さんと川幡千尋さん、13地区新井子ども会の日下部匠さん、池田隼晟さんが参加、代表して杉山さんが副市長に目録を渡しました。

その後副市長から市川市社会福祉協議会の小島会長へ募金が寄付され、会長は児童に「14万円もどうやって集めたの？」と質問され、その場が賑やかになりました。

今回ご協力いただいた子ども会は、「本行徳四丁目、菅野西、田尻、東菅野三丁目さくら、柏井子ども会連合会、ソフトタウン、新田4丁目、高石神、第8地区子ども会育成会、中山、市川南、大野三丁目、柏井第6支部、新田2・

3丁目、中国分、大洲、大芝原、北国分堀之内、白幡、つくし、高谷、門前、新井、募金箱」でした。



中国雑技川劇 (変面)を鑑賞

事業部長 遠藤 恵子

12月1日(日)に大和田小学校の体育館にて、ファミリー芸術鑑賞「中国雑技川劇(変面)」を行いました。

「川劇」とは、一瞬で顔が変わる変面という中国四川省の伝統芸能です。

当日は変面のほか、イスを重ねてその上で逆立ちをしたり、6枚同時に回す皿回し、麦わら帽子のジャグリング、すごい高さの一輪車、120本を同時に回すフラフープ等を鑑賞しました。

一つ一つの演技に子ども達も自然に拍手と歓声が湧きおこりました。

麦わら帽子をくるっと回し頭に被るジャグリング体験も行われました。

とても貴重で楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

子供たちの感想

- (小1・男) 楽しかった。ぼうしはむずかしかったができました
- (小1・女) 中国雑技を見てすごかった
- (小1・女) 一輪車がすごかった
- (小1・男) へんめんがふしぎでおもしろかった
- (小1・女) フラフープがすごかった
- (小1・女) わたしもやりたい
- (小2・女) どれもすごかった。特にすごかったのはイスのげいです
- (小2・女) 家族で楽しめました。ありがとうございました
- (小6・女) 迫力がすごくて、まちかで見られ、とてもドキドキしました。すごく楽しかったです



募金お願いしま〜す

東菅野3丁目 さくら子ども会

村上 キミ子

「雨にも負けず風にも負けず」例年12月第1日曜日に来られる子ども達。子どもと育成会員が一緒に育成会OBの家を一軒一軒回って行く。「さくら子ども会です。歳末助け合い募金で来ました。」「ありがとうございます。」と言った約一時間活動します。

OBの方々は待っていたかのように大きな声で、「待っていてね」とか「さくら子ども会よね」とか、インターホン越しに聞こえてくる声！缶いっぱい貯めたお金を募金袋へ。どっしり重い。封筒ごと袋へ入れてくれる方など色々。

「ご苦労様」とニコニコ協力してくれ、ありがたい。集合場所では会員が募金に来てくれ、皆とても協力的。子どもも終わるときには仲よくなり、楽しかったと言って「さよなら」と解散して行った。

70周年記念に立看板製作

高石神子ども会

今年、市子育連創立60周年

でしたが、高石神子ども会創立70周年の年でもあります。

昭和24年より、地元の故永井芳江さんが高石神社境内で子どもたちを遊ばせたり、ラジオ体操、玉入れをしたとか。その頃子どもであった方の子、孫さんと、三代子ども会に在籍している家族もいます。

祝70周年を記念して、永年使用していた「立看板」を新調しました。

用紙に絵を描く子、折紙を用紙に貼る子、写真を持参する子。それらをカラージュして大きな看板が出来上がり、クリスマス会でお披露目です。過去の写真の中には、木曜会のブラックシアターや故・関直明さんの紙コマづくりもあります。

今の子どもたちが成人し、看板に昔の自分を見つけた時、又一つ話題が増え、笑顔が見られる事とほくそ笑んでいます。どうぞ皆さんも看板を見に来てください。なつかしい顔

が見られるかもしれません。



楽しかったクリスマス会

つくし子ども会

川田 仁美

12月15日(日)、市川南3.



4丁目自治会館にて、つくし子ども会のクリスマス会が開かれました。

会長挨拶の後、参加者をチームに分けて、6人の育成者が一斉に言った言葉を聞き分けるゲーム「なんて言ったのでしょうか？」に始まり、「お菓子つかみどりゲーム」「サイコロゲーム」「パンつりゲーム」「輪投げ」など各自楽しみました。

最後はメインイベントのピング大会!! 子どもだけでなく大人用の景品もあるので、子どもも大人も引かれる数字に一喜一憂。大盛り上がりの日でした。

編集後記

60周年行事も無事終え、関係者、安堵感と共に脱力感に似た気持ちでいられるのではないのでしょうか？

皆さんお疲れ様でした。創設当時の言葉に「今日あるは明日の為、明日あるは遠い将来の為」。そして今回ご祝辞を頂戴しました教育長さんの「人をつなぐ 未来へつなぐ」とも重なる言葉。

昭和、平成、令和と子ども会は又一步新しい時代を歩んでいきます。将来の子どもの為に皆さん、力を合わせましょう！

市川市子ども会育成会だより

「ふれあい」一〇二号

発行 市川市子ども会育成会 連絡協議会

住所 市川市柏井町四一四七一

発行人 石井 克己

編集人 遠藤 淳子

川上 みつ子

大林 和彦

川田 仁美

及川 和弘

遠藤 孝治

赤澤 秀樹